

製品名: 切断型 C1s HC (R437) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08951**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47+76kDa

抗原情報

遺伝子名	C1S
別名	C1S; Complement C1s subcomponent; C1 esterase; Complement component 1 subcomponent s
遺伝子 ID	716.0
SwissProt ID	P09871
免疫原	抗血清はヒト C1S 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 388-437

背景

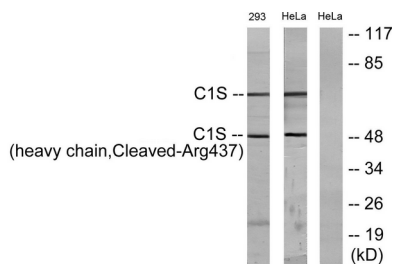
この遺伝子は、ヒト補体サブコンポーネント C1 の主要構成成分であるセリンプロテアーゼをコードしています。C1s は、他の 2 つの

補体コンポーネントである C1r および C1q と会合して、血清補体系の最初のコンポーネントを生成します。この遺伝子の欠陥が選択的 C1s 欠損症の原因です。[RefSeq 提供、2009 年 3 月],触媒活性: 補体コンポーネント C4 の Arg-|-Ala 結合を切断して C4a および C4b を形成し、補体コンポーネント C2 の Lys (または Arg) -|-Lys 結合を切断して C2a および C2b を形成する、いわゆる「古典的」経路の C3 転換酵素。、疾患: C1S の欠陥が選択的 C1s 欠損症の原因です [MIM:120580]; 早期に発症する複数の自己免疫疾患に関連しています。、酵素調節: SERPING1 によって阻害されます。、機能: C1s B 鎖は、C1q および C1s と結合して補体系の古典的経路の最初の構成要素である C1 を形成するセリンプロテアーゼです。C1r は C1s を活性化し、それによって C2 と C4 を活性化します。、オンライン情報: C1S 変異データベース, PTM: 鉄および 2-オキソグルタル酸依存性のアスパラギン酸およびアスパラギンの 3 位水酸化は、EGF ドメイン内で (R) 立体特異的です。、類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。、類似性: EGF 様ドメインを 1 つ含みます。、類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含みます。、類似性: CUB ドメインを 2 つ含みます。、類似性: Sushi (CCP/SCR) ドメインを 2 つ含みます。、サブユニット: C1 は、C1q、C1r、C1s からなるカルシウム依存性の 3 分子複合体で、モル比は 1:2:2 です。活性化された C1s は、重鎖と軽鎖がジスルフィド結合したヘテロ二量体です。、

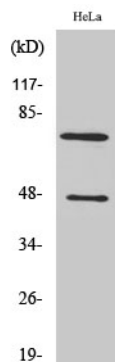
研究分野

補体および凝固カスケード; 全身性エリテマトーデス;

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した 293 細胞および HeLa 細胞のライセートを、C1S (重鎖、切断型 Arg437) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-C1s HC (R437) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析